

2020年12月

おおやカウンセリングルームだより

11月は、大人のリラックス方法についてお話ししました。いかがでしたか？
今月は、子どもの発達についてご紹介します。

「発達」は個人差が大きく、幅が広いものです。
子どもの発達と向き合うポイントは二つあります。

- ① 「子どもは必ず成長する」と信じる
- ② 「今、育ちつつある力」に注目する

ちなみに②の「今、育ちつつある力」とは、例えば、一人では順番待ちができずに他の子どもが使っている遊具を使いたがる子どもも、横で大人に「じゅんばんこだよ！」と声をかけてもらおうと待てることがあります。このような場合、「順番待ち」という社会的なスキルがこの子どもの「今、育ちつつある力」ということになります。

子どもにとって個性を尊重される体験は自分の存在価値を尊重される体験になります。
例えば、昨日は遊具で順番待ちができなかった子どもがいたとします。ここで、「今日はじゅんばんこできるかな？」と声をかけるだけでも「これからできるようになる」という個性を尊重する態度になります。
大人は「いつかできる！」と信じて子どもに向き合うことが大切です。